

PAT-NO: JP354026525A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 54026525 A

TITLE: FLOWER POT FITTING TO DOWNSPOUT

PUBN-DATE: February 28, 1979

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

KIMURA, TOKUJI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

MATSUSHITA ELECTRIC WORKS LTD

N/A

APPL-NO: JP52092634

APPL-DATE: July 30, 1977

INT-CL (IPC): E04D013/08

US-CL-CURRENT: 47/66.6, 52/16 , 52/27

ABSTRACT:

PURPOSE: To offer a flower pot fitting to a downspout with such a construction that a flower port can be fitted readily at any part of a downspout so that an efficient utilization of a downspout is gained as well as the downspout and the wall surface etc. in adjacency can be decorated.

COPYRIGHT: (C)1979,JPO&Japio

⑨日本国特許庁
公開特許公報

⑪特許出願公開
昭54—26525

⑤Int. Cl.²
E 04 D 13/08

識別記号

⑥日本分類
65 B 0

庁内整理番号
2105—2E

④公開 昭和54年(1979)2月28日

発明の数 1
審査請求 有

(全 2 頁)

⑭縦樋への植木鉢取付装置

門真市大字門真1048番地 松下
電工株式会社内

⑰特 願 昭52—92634

⑰出 願 人 松下電工株式会社

⑱出 願 昭52(1977)7月30日

門真市大字門真1048番地

⑳発 明 者 木村督司

㉑代 理 人 弁理士 石田長七

明 細 書

1. 発明の名称

縦樋への植木鉢取付装置

2. 特許請求の範囲

(1) 植木鉢の側壁を内方へ凹没せしめて内周形状が縦樋の外周形状と同形の嵌合凹所を形成し、縦樋の上下の通所の外周に嵌合凹所を嵌着して成ることを特徴とする縦樋への植木鉢取付装置。

3. 発明の詳細な説明

本発明は、植木鉢(1)の側壁(2)を内方へ凹没せしめて内周形状が縦樋(3)の外周形状と同形の嵌合凹所(4)を形成し、縦樋(3)の上下の通所の外周に嵌合凹所(4)を嵌着して成ることを特徴とする縦樋への植木鉢取付装置に係り、その目的とするところは、縦樋を有効に利用して植木鉢を取付けることができる縦樋への植木鉢取付装置を提供することにある。

以下本発明を実施例により詳述する。植木鉢(1)

は有底筒状の概ね円筒形状に形成してあり、植木鉢(1)の側壁(2)を内方へ凹没せしめて嵌合凹所(4)が形成してある。嵌合凹所(4)は上下及び側方へ開口しており、嵌合凹所(4)の内周形状は縦樋(3)の外周形状に適合すべく横断面略C字状に形成してあり、側方の開口(5)の開口巾は嵌合凹所(4)の内径より狭く形成してある。しかして植木鉢(1)内に土(6)を盛り、植物(7)を植えるものであり、かかる植木鉢(1)は縦樋(3)を變形せしめて第2図(a)より第2図(b)へのように側方の開口(5)より嵌合凹所(4)内に縦樋(3)を嵌入し、さらに接着剤による嵌合凹所(4)と縦樋(3)との接着や、縦樋(3)に取り付けた支持リング(8)で植木鉢(1)下面を支持することによって植木鉢(1)を縦樋(3)に固定する。また植木鉢(1)の取付箇所は縦樋(3)が上下に同形状なので任意の高さでよく、また第3図のように複数個向きを種々変えてもよい。

上述のように本発明にあつては、植木鉢の側壁を内方へ凹没せしめて嵌合凹所を形成し、縦樋の外周に嵌合凹所を嵌着してあるので、縦樋に植木

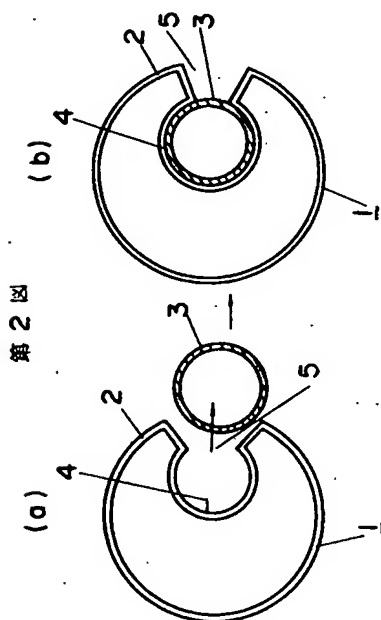
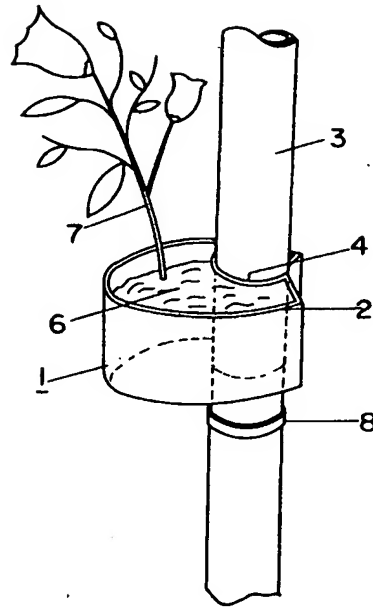
第1図

鉢を取付けることができ、堅礎を植木鉢設置に有効利用できると共に植木鉢の植物で堅礎及びその近傍の壁面を装飾化できる利点があり、さらに植木鉢の堅礎への取付けは植木鉢の側壁を内方へ凹没せしめて形成した嵌合凹所で行なうので、取付けにあたって別部材は何ら必要なく、安価な構造とすることができる利点がある。また嵌合凹所は内周形状が堅礎の外周形状と同形に形成してあるので、堅礎の上下のどの位置にでも嵌合凹所を嵌め込むことができ、取付位置が制限されることがなく、任意の位置に取付けを行なうことができるものである。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明一実施例の斜視図、第2図(a)(b)は同上の取付けを説明する上面断面図、第3図は同上の縮小斜視図であつて、(1)は植木鉢、(2)は側壁、(3)は堅礎、(4)は嵌合凹所である。

代理人 弁理士 石 田 長 七



第3図

